

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                             |   |               |
|----------------|-----------------------------|---|---------------|
| ○事業所名          | 福岡療育支援センターいちばん星志免（保育所等訪問支援） |   |               |
| ○保護者評価実施期間     | R6年 11月 1日                  |   | ～ R6年 12月 31日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                      | 4 | (回答者数) 3      |
| ○従業者評価実施期間     | R6年 10月 1日                  |   | ～ R6年 10月 31日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                      | 2 | (回答者数) 2      |
| ○訪問先施設評価実施期間   | R6年 12月 1日                  |   | ～ R6年 12月 31日 |
| ○訪問先施設評価有効回答数  | (対象者数)                      | 2 | (回答者数) 2      |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R7年 1月 31日                  |   |               |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること                   | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|----------------|
| 1 | 通園している重心事業所として、所属する施設を訪問し、日常の姿勢や活動の工夫をすることができる。              | 訪問先でしっかり確認したり、実際に体験していただいたりしている。<br>福祉機器をお貸しすることもできる | 訪問の回数を増やす計画    |
| 2 | 通園の時間に実際に行っている事、使っている道具、利用児の安楽さを伝えながら、所属施設でも工夫できることをアドバイスできる | 保護者に同席していただいて確認することもある                               | 定期的な訪問体制を確立する  |
| 3 | 子どものことをよくわかっている職員が訪問することができる                                 | 専門職が揃っているので、子どもの課題によって、訪問支援員を派遣できる。                  | 多職種訪問を増やしていく   |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等               | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等   |
|---|--|---------------------------------|------------------------|
| 1 | 訪問回数が少ない                                   | 令和6年度から開始した事業なので、まだ体制が出来上がっていない | 訪問支援員を増やして実施していく       |
| 2 | 前回の課題が改善されていない                             | 訪問と訪問の機関が空いている                  | 訪問回数を増やし、要請に応じらえるようにする |
| 3 | 緊急時や災害時の訪問先での工夫についての助言ができていない              | 緊急課題が優先して、そこまでできていない            | 今後の取り組むべき課題として検討していく   |